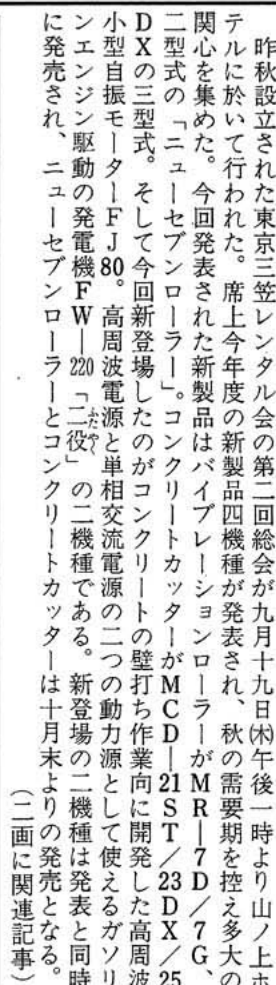


発表さる



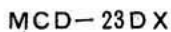
東京都千代田区猿楽町1-4-3
三笠産業株式会社
電話 東京(292)1411 大代表
テレックス 222-4607
郵便番号 101
PR旬報 年4回発行

セブンローラーの呼び名で長い間親しまれたMDR-7型がフルモデルチェンジされた。搭載するエンジンによって二つの型式に大別される。MR-7Dは水冷ディーゼルエンジンを原動機とし、クボタE60N、ヤンマーNFA60、かつらD65-31MRの三種のなかから選ぶことができる。使用するエンジンに依り重量が異なり、クボタ付550kg、ヤンマー付570kg、かつら付580kgとなる。ヤンマーNFA60を除き使っているエンジンはMDR-7Dと同じ機種を使用している。MR-7GにはMDR-7G当時のEY25に替りロビンEY28空冷ガソリンエンジンを搭載した。トランスミッションはMDR-7と同じ油圧式の一体型、ダイキン15-15を使っている。棒ハンドルの手許のレバーを前に倒せば前進後へ倒せば後進する。このレバーの動きに応じてローラ

ーを引くのは、前面を大きく占めたポリエチレン製の水タンクである。容量も30ℓとMDR-7に比べ30%も増えている。水タンクをはじめ散水パイプに至るまで非金属材料を使っている。錆で散水パイプの穴がつかまるというような心配はなくなっている。

格納や運搬の際場所をとらないようにピンを引抜くと折りたたんだ先端には、安全装置デトローラーが標準装備と言え、ブレーキも付いて一役かっている。

める棒ハンド 作業者を保護 ットマンコン 装備された。 はパーキング て、事故防止 る。そして積	型式 機体の寸法 ローラーの寸法 振動数 速心 走行速度 登坂能力 静線圧 動線圧 水タンク容量 オイルタンク容量 使用エンジン	MR-7G・MR-7D 高960mm 幅740mm 長2500mm 径406mm 幅650mm 3000v.p.m 1200kg 0～4 km/h 25" 前輪 3.8(4.2)kg/cm 後輪 4.3(4.8)kg/cm 前輪12.5(12.7)kg/cm 後輪14 (15) kg/cm 30ℓ 14ℓ ロビンEY28 7.5ps/4000r.p.m (クボタE60N 6ps/2500r.p.m ヤンマーNFA60 6ps/2400r.p.m かつらD65-31MR 6.5ps/2400r.p.m) ダイキン15-15型 530kg (550kg 570kg 580kg) (クボタ付 ヤンマー付 かつら付)
---	---	---



ツクも取付けられている。
ニューセブンローラーは、
永年に亘りご愛用頂いたお客
様のご意見と、三笠のローラ
ー造りの技術が渾然一体とな
って具現された新製品である。

21ST / 23DX / 25DX

MCD-22A / 24型がフルモデルチェンジした。エンジンの出力に依って三つの型式に分類されているが、これらはフレームの基本構造は全く同じである。カッターの走行方式が二つに分けられ、一つは機体上部のクランクハンドルを手でまわし、歯車を介して歯輪を動かすタイプで、こ

方へ押込み、場所をとらないようになっている。上位機種では既にお馴染みの構造であるが、このクラスのカッターとしては初めての採用である。大型から小型まで、各種サイズのコンクリートカッターを長年手がけて来た三笠が発表する最新型カッターは、扱い易い機構で必ずや皆様にご愛用して頂せるものと思う。

をDXと呼ぶ。もう一つのタイプはバーハンドルを握って手押しするSTである。

ロビンEY28最大出力7.5PSをのせているのがMCD—21ST、EY28を使った手押し式のカタターとして今回初めてシリーズに加えられた。最大出力8PSのロビンEY35Dを付けたのがMCD—23DXで、シリーズの中核と目される。

MCD—25DXにはロビンEY40D最大出力10PSのエンジンを使用し、最大切断深さ160mm。最も強力なタイプである。

EY35D／40Dは従来からM

	寸 法 重 量	使 用 エ ン ジ ン
	全長：1580mm 全幅：583mm 全高：1050mm 重量：118kg	ロビンEY28 空冷4サイクル 最大出力7.5ps/4000r.p.m リコイルスターター付
	全長：1580mm 全幅：583mm 全高：1050mm 重量：136kg	ロビンEY35D 空冷4サイクル 最大出力8ps/3600r.p.m リコイルスターター付
	全長：1580mm 全幅：583mm 全高：1050mm 重量：138kg	ロビンEY40D 空冷4サイクル 最大出力10ps/3600r.p.m リコイルスターター付

型 式	使用ブレードの寸法	最大切断深	ブレード軸径	切断深度調節装置	冷 却 装 置	寸 法 重 量	使 用 エ ン ジ ン
MCD-21ST	254mm (10") 305mm (12") 356mm (14")	70mm 95mm 120mm	27mm (1 $\frac{1}{16}$ ")	手動スプリング式	重 力 注 水 遠心水噴射式 〔42ℓ 水タンク付〕	全長: 1580mm 全幅: 583mm 全高: 1050mm 重量: 118kg	ロビンEY28 空冷4サイクル 最大出力7.5ps/4000r.p.m リコイルスターター付
MCD-23DX	254mm (10") 305mm (12") 356mm (14")	70mm 95mm 120mm	27mm (1 $\frac{1}{16}$ ")	手動スプリング式	重 力 注 水 遠心水噴射式 〔42ℓ 水タンク付〕	全長: 1580mm 全幅: 583mm 全高: 1050mm 重量: 136kg	ロビンEY35D 空冷4サイクル 最大出力8ps/3600r.p.m リコイルスターター付
MCD-25DX	254mm (10") 305mm (12") 356mm (14") 457mm (18")	70mm 95mm 120mm 160mm	27mm (1 $\frac{1}{16}$ ")	手動スプリング式	重 力 注 水 遠心水噴射式 〔42ℓ 水タンク付〕	全長: 1580mm 全幅: 583mm 全高: 1050mm 重量: 138kg	ロビンEY40D 空冷4サイクル 最大出力10ps/3600r.p.m リコイルスターター付

東京三笠レンタル会 第二回 総会行なわる

昨年九月、関東・甲信越と東海地方のレンタル会社の有志によって設立された三笠レンタル会の第二回総会が九月十八日(木)、三笠産業の本社に程近い「山ノ上ホテル」に於いて開催された。本年四月に東北地区に於いて「東北三笠レンタル会」が設立されたため、今回より名称を「東京三笠レンタル会」と変更し、第二期目に向けてスタートした。

総会に先立ち、午後一時より新製品発表説明会が三笠産業機F W 220「二役」について行なわれた。秋雨前線の停滞により、天候があやふやな中、三笠産業の部長が、永年ご愛用して頂いていたセブローラーの後継機として、レンタル会々員の皆様の声を随所に取り入れ、扱い易さを追求して開発されたMR 7 ニューセブローラーと、昇降装置や散水装置に新しさを盛り込んだMCD 23 DX / 25 DX コンクリートカッターについて説明を行なった。今回は時間の関係もあり、質問は総会の後の席上という形で、総会に移して総会に入った。

三笠産業の会議室に集合された約四十社の会員の皆様は、続々と展示会場につめかけられ、第一営業部長の司会により発表会が始められた。まず、第一技術部の松下部長が、新しいコンクリート打設の工法として注目を集めている高周波小型自振モーターF J 80及び48Vの高周波電源と100Vの単相交流電源の両方に



第二回 東京三笠レンタル会

大沢課長の進行により始められ、先ず花岡会長が挨拶に立ち、会長の発言により本年六月に亡くなった三笠産業館林工場長故小林専務の冥福を祈って全員で黙禱をささげた。早いもので、椿山荘で設立した東京三笠レンタル会が本年四月より一年になります。私が無事、滞りなく会長の任を果せていたいただきましたのも、会員ひとりひとりの御協力のおかげであり、また三笠産業さんのお力添えがあったからではなからうかと感謝いたしております。私が昨年度、会長方針として技術の開発研究というのを申し上げましたのが、本日の新製品発表説明会で多くの新製品を見せられて、業界の一翼を担うものではないかとよろこんでいる次第でございます。我々の業界もきびしく、同業者の倒産も相次いでおります。その中でレンタル会を発展させて行くも衰退させるも役員は双肩にかかっているものと自負しております。三笠さんというところ、若干泥臭いように感じますが、品を開発して行くにあたっては、レンタル会々員一社一社のあたたかい御協力が重要なことと考えております。私の任期も本日であらうと折り返し点にきたわけであり、残された一年、皆様の絶大なご協力とご支援をもちまして頑張つてゆきたいと思ひます」と挨拶されました。



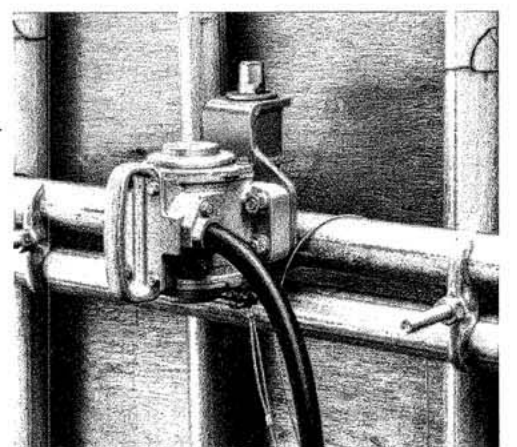
(挨拶する花岡会長)

総会終了後は、新装なった両国の国技館で大相撲九月場所の観戦、そしてふたたび山ノ上ホテルに戻り懇親会が行われた。

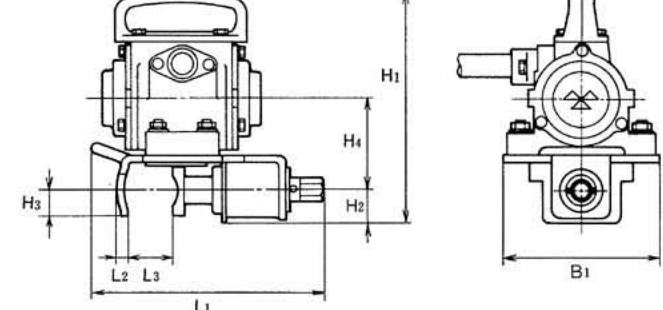


(新製品の説明)

高周波小型自振モーター FJ80型 新発売



建築工事向として新しい高周波自振モーターが登場した重量僅か6kgの小さなモーターだが、この小型モーターの両方の軸には偏心振子が取付けられていて、高周波電源を使い、200Hzの場合には一分間に六〇〇〇回、240Hzでは七二〇〇回もの振動を発生する。小さいながらもなかなかの建築モーターである。現在の建築工事では配筋密度が次第に高くなる方向にあり、強度が要求されるものになる程この傾向が多くなるのは当然のことである。このため、壁面、柱、梁などは内部用パイプブリーダーだけではコンクリートの充填が思わしくない。いわゆるジャンカができる。木ハ



L1 全長	241mm
L2 爪厚	12mm
L3 チャック可能幅 単管パイプ 角パイプ	φ48.6mm φ50~60mm
H1 全高	192mm
H2	29mm
H3 爪高さ	21.5mm
H4 パイプモーター軸間距離	86.5mm
B1 全幅	147mm

※コード 2m 3芯または1.25m 4芯、タイシンキャブタイヤコード

型 式	F J 80
出 力	80W
電 圧	48V
電 流	2.2A
相 数	3
周波数	200/240HZ
振動数	6000/7200v.p.m
遠心力	100/144kg
重 量	6.0kg

多用途型の発動発電機の第二弾「二役」がこのたび発売された。高周波発電機に溶接機と単相交流発電機の機能を持ったFW 333型「三役」が昨年の登場、好評を持って迎えられた。今回発売のFW 220型は溶接電源の機能はないが単相交流電源をワンタッチレバーの操作でエンジン回転を制御、50Hzと60Hzに切替えて使うことができるのが特長である。従って国内どの地域でもお使い頂ける手軽な移動電源で、水中ポンプなども安心してお使いになれる。スイッチを切替えると高周波電源となり、こちらもワンタッチで200Hzと240Hzの周波数切替が簡単にできるので、国内どの現場でもお使いになれる。単相交流の発生電圧は100V。高周波の方は48Vの安全電圧。但しこれらは両方を同時に使うことはできない。どちらか一方ずつを使うことになる。ポルトメーターが単相交流用と高周波用とが兼用となっていて、切替えたときの電圧を示すようになっている。高周波バイブレーターや高周波自振モーターをまわすことは勿論、ライトを点灯しながら単相100Vモーターで駆動するフレキシバイブレーターを使うなど用途はさまざま。新時代の多目的移動電源である。連続使用に備え燃料タンクは



一台で「二役」 高周波／単相交流発電機 FW 220型 新発売

高周波バイブレーターや自振モーターの電源として照明など単相交流電源として使える10A入りの大型。オイルセンサー(オプショナル)でエンジンの焼付を防止するなど万全の装備。更にフレームは積み重ねて格納できる構造で扱い易さも抜群である。

高周波／単相交流発電機 FW-220型 仕様

高周波電源				交流電源		機体の寸法	
出力	1.8/2.0KVA	出 力	1.3/1.5KW	長	590mm	幅	427mm
電 圧	48V	電 圧	100V	高	465mm		
電 流	21/24A	電 流	13/15A				
周 波 数	200/240HZ	相 数	単相				
相 数	3相	波 数	50/60HZ				
プラグ差し込み口	2口	波 ラ	グ				
使用し得る振動機の数	FH-30 6本 FJ 80 10台 FH-40N 4本 FJ400 1台 FH-50N 2本 FJ750 1台 FH-60N 1本	差 し 込 み 口	2口	使用エンジン	ロビン EY20D		
					5PS/4000r.p.m		
					リコイルスターター付		
					重 量	50kg	

建設機械展示会 (晴海)

盛大に催さる

昭和六十年度建設機械展示会が、七月十二日(金)から十六日(火)までの五日間にわたり、六十五社の参加により東京晴海埠頭前広場に於いて開催されました。国内・海外において着々と進行している建設事業も、道路、河川、都市住宅、港湾と多方面にわたり、それらの工事内容に即するべく、一段と力強くレベルアップされた建設機械が展示されておりました。

我が三笠は今回も展示小間が正面入口の右に位置し、小型汎用機メーカーの出展数が少なかった為、一人気を吐いた形になり大盛況であった。

小野記

河合記

七月十三日(土)

七月十二日(金)

前日の雨と違って変わり、梅雨明けを思わせる快晴に恵まれた本日、十時の開幕とともに、各小間も一斉にオープンした。昨年と比較して、出品メーカー数は減っている印象を受けたものの、御来場者数は上々であった。当社の小間においては、日頃御世話になっております都内、近県のユーザー、ディーラー、輸出商社の方々ははじめとして、東北三笠レンタル会・長野県リース業協会御一行様他多勢の方々に御来場いただき、田島記

展示会第二日は早朝より、どんよりとした梅雨空より大粒の雨が時に激しく降りしきり、各メーカーの詰員、協会の作業員の方々が、あわただしく排水作業を行なうと云う、生憎の天候になってしまった。それでも熱心なお客様が、国内はもとより遠く海外からも来場されました。

三笠産業の小間にも開会時間と同時に、傘をさし、雨に濡れながらも多勢のお客様が訪れて下さって、真剣な表情で一台一台機械を見て、詰員より説明を受けておられました。

七月十四日(日)

七月十三日(土)

七月十二日(金)

前日降った雨も上がり、夏本番の日射しの下、雨よけビニールシートを外し終わるや否や、最初のお客様が訪れた。幸先の良いスタートだった。気温も日差しも上昇し、それに比例して来場者も増えていった。各地の代理店さんやユーザーさん、さらには海外からのお客様も見えられ、熱心に三笠の機械を納得いくまで見て下さっていただいた。中でもFJ80自振モーター、インバーター、新型ローラー、カッターに人気が集まり、種々な角度からの御質問や、賛の御言葉をいただく事ができた。

七月十五日(月)

昨夜の雨はすっかりあがったものの、第四日はゴトゴトと重なり客足が心配であったが、開場と同時にお客様の出足は好調。又、専門学校の生徒の団体も多く見学されていった。梅雨明け宣言も出され、快晴の中、お客様は額に汗を滂ませながら、我々の小間へ足を運んでいただき、用意したカタログセットも昼前に無た。

向成記



技術で応えます。後援のMIKASA

くなり、追加セットを用意する忙しさであった。時に今回はFJ80型が目玉され、運搬しながら真剣に説明を受け、又、質問されておりました。三笠製品を知ってもらおう場として有意義な展示会であった。

須田記

七月十六日(火)

いよいよ東京展も最終日となり、前日に引き続き夏まつ盛りの好天に恵まれた。最終日ということもあり、来場者もぐっと増え展示会の熱気もピークに達した。我々三笠コナークでも新型ローラー、R85型をはじめとする前後進コンパクターシリーズのデモンストレーションに大忙しで、中でもMT-65型と電動ランマーに注目が集まった。他、新型カッターも使い易さをユーザーさんに感じていただけた。又遠く海外から来られたユーザーさんもMVC-77型ブレードの水タンクの容量にワンダフルと絶讃されていた。

後刻取調室で待機している私の前へ手錠姿で引き出されて来た男の顔は無残に腫れあがり、全身はガタガタと音をたてて震えていた。時折ちらりと私へ向ける卑屈な眼差しは驚きによるもの、その奥から沁み出るような深い悲嘆の表情は私に何事かを訴えているようでもあった。もはや彼の憎悪はすっかり消え失せてしまひ、私はあの男に死刑の宣告をしてしまったようであらう。不気味さと後悔の悪さが次第に胸の底へ深く沈み込んでいった。

「そろそろ出発だな」私は空港へ向う前に事の顛末を報告するために日本領事館へ立寄らねばならなかった。空港までどうやって行くのか、と聞くとX氏に「タクシー」と答えると「そりや大金だぜ」と彼はあつげにとられたようにポカンと口を開けた。何かにつけて金を無心する彼の警戒から、今まで私も無一文を装って来たけれど、まだ結構大金を持っているな、とぞこんな事でも思っているんだらう、といつまでも口を開けたままの彼を見て私は多少意地悪く推察してみた。

立ちあがるとベランダ越しに海峽をまたいで対岸のウシユクガルへ見事な虹が大きな弧を描いていた。ヨーロッパとアジアの二大陸を結ぶ感動的で美しい七色のかけ橋であった。あの虹の先ウシユクガルにいたという犯人カミルの家族をふと思つた。X氏によれば彼は三年程刑務所暮らしをせねばならぬのだらうと言ふ。私から奪った金はすべてD市の男にとりあげられてしまひ、さらにそれはいま行方不明な第三の男の手に渡っているという。

「虹だ」と言つたがX氏は別に窓の外へ顔を向けるでもなかった。大金を握り損ねた見果てぬ夢があまりに大きすぎたのか、彼の落胆ぶりはその横顔から充分察しがついた。明日からまた「カモ」を求めて、イスタンブールの街をうろつく中年の失業男の姿を私は想像してみた。

「これにて一件落着」遠山の金さんのセリフを真似てみせたが、勿論X氏に日本語の解らう筈はなかった。

ミスターX

永井 郁 (画家)



白いベランダに出ると、昨夜来の雨もいつときあがって黒い雨雲がいくつも足早に流れて行く。その一つが駆け抜ける度に強い夏の日差しが朝のボスボラス海峽をキラキラとまぶしく照らし出していた。

「金がないって金くさい事だぜ」とX氏が口を開いた。振り向くと彼は堅い木の椅子に身をかがめ、両手で頭をかかえていた。私の事を言ったのか、彼自身の事だったのか、一瞬判断しかねたけれどそれはもうどちらでもよい事であつた。今回の事件でこの四日間私が関わった人達はみんな貧しい者ばかりであつたし、誰にとっても等しく貧しい者であつた。

昨夜、主犯をD市につきとめたいという情報を警察で聞いたとき、彼は小踊りせんばかりに興奮して「もう金は百パー戻ってくるぜ、そうしたら半分ずつ山分して、どうだいこの刑事連中を引き連れてパレードとキャパレーへ女でも漁りに」としわがれた声でまくしけたものである。

しかし「悲しい程の貧しさ」ではあの直接の犯人、靴磨きのカミルが一番だったらう。私はあの哀れな瞳を生還忘れ得まい。何人かの容疑者を逮捕したとの連絡を受けた警察へ出頭すると、すでに届けておいた人相、風体と似た男達が七人、一様に怯えた表情をして廊下に並んでいた。左から二番目の男こそ私は恨み重なる見覚えの顔に間違いなかった。私が指差した瞬間三人の刑事がとびかかり、男は異様な叫び声をあげて私に罵詈雑言を吐いた。殴られ、蹴られ、髪の毛を鷲づかみにされて引きずられて行く男は妙に猫背で、屈強な刑事達に囲まれた後姿はじめて、ひどく小さく見えた。あとに残った刑事の一人が「ヤツはこれからこうだぜ」とで言つたのか(私はトルコ語は理解出来なかつたが)「アッパ」カットの仕草を交えて笑いかけた。だが、今の私はあの哀れな後姿に繋る彼の家族を思う憐憫の情と、事件を警察沙汰にしてしまった事への悔恨が激しい自責の苦痛となつて胸の中にうずき出していた。

荻野記

ことができ、改めて円の強さを感じさせられました。十三日の午後九時過ぎに無事成田に着いた時は何故かホッとした気持ちになり、日本て何て素敵な国なんだろうという新鮮な感動を覚えました。

九月八日、成田発午前九時のSQ005便に乗った。私たちが五人は、高鳴る興奮と不安の入り混じった思いを一杯にしてシンガポールに向けて飛び立ちました。今年の十年勤続者海外研修は女性社員一人だけでした。最初は少し心細いような気もしましたが、一緒に来た人達がいれば、とても楽しく有意義な旅をすることができました。

シンガポール「ガーデンシティ」と呼ばれているシンガポールは、その名の通り清潔感のある、とても緑のきれいな街でした。行く前の私は狭い所に250万人の人が住んでいる何かがごみごみとした所のように思っていました。シンガポールの層ビルと落ち着いた街の雰囲気にとっても新鮮な感動を覚えました。

パンコクに発つ三日目の朝、我々の大切な取引先であるT社を訪問し、社内を案内していただきました。三笠に対する信頼と真剣な姿勢に、立場は違いますが、製品の向上と、我々発展の責務を感じ、私にとても貴重な体験でした。その後、ジョホールバル、自然動物園に案内していただき、とても楽しい時を過ごすことができました。紙上をおかりし、心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。

パンコク

シンガポール

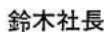
九月八日



タイ、エメラルド寺院にて 後右より須田、河合、倉田、前右より須田、荻野

パンコクから飛行機で二時間。最初に私の目に映ったものは海の際まで隣立する高層ビル、それが香港でした。し

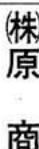
(神奈川)



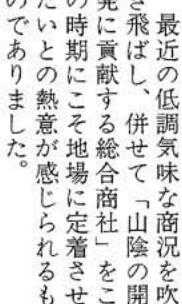
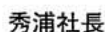
向成記



川嶋社長



(島根)
島根県下で本社（八束郡宍道町）を中心に益田、浜田、宍道、邑智に拠点を設け県内はもとより、一部島根県米子にも進出して建機、建材の販売、レンタル、修理の各部門に精力的に事業展開を計っておられる代理店株式会社原商さん（秀浦達夫社長）では、九月七日、九日の三日間、縁結びで名高い出雲大社横の一六〇〇㎡の大駐車場に五二社のメーカーの参加を得て、様々な企画を盛り込んだの大規模な展示即売会を開かれました。



展示即売会に先立ち、前日の九月六日、大杜カントリクラブで十余名のユーズーさんを招待してのゴルフコンペを催し、意気高らかにオーブを楽しみました。

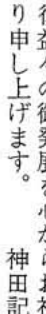
事前の充分な根回しと益田、沢田の遠方からはバスをチャーターしての送迎などキメ細かな配慮が効を奏して、三日間の来場者は一〇〇〇名を招ける盛況振りでありました。

三笠の展示場は本部受付横に位置し立地条件に恵まれ、本場者は必ず立寄っていたが、特に三笠独自の前面密閉型バイブレーターには深い関心を寄せられておりました。

成約額もお陰をもちまして、近年にないものとなり、高周波バイブレーター、プレートコンパクターはもちろんのこと、振動ローラーを始め三笠の主力機種はムラなく契約が出来た中身の濃い展示即売会となりました。

最後に紙上をかりまして社長様を始め社員の皆様方のご協力に厚く御礼申し上げます。

三笠建設機械㈱ 守本記



況、販売状況、財務状況、顧客情報等がボタン一つで画面に現れるという理想的なシステムを実現している。

更に、新社屋のすばらしい施設として、従業員のための体育室が上げられる。誰でも始業前、終業後又昼休み時間には体育室で運動器具を使ってボーリングに励むことが出来るのはいかにもアメリカらしい。

マルティクイップ社は六年前に、以前より二、五倍の規模で旧社屋を新築移転したが、この五年間の急成長で早くもパンクしてしまい、又々新築

ており、この度の移転で一五〇〇種類の部品を移送する中、このサービステルを維持したことは、ディーラー、ユーザーから高い評価を受けている。

落成式のパーティは七月二十六、二十七日の二日間に渡って行われ、第一日目は全来よりトップディーラーが招待を受け、メーカー関係者と共々二五名の出席者となった。二日目は三〇〇社を招待してのバーベキュー・パーティーが盛大に催され招待者には新社屋を披露すると共に新製品の紹介を兼ねて全製品の展示、

オイルバス式ランマーとポリエチレン製大型水タンクがワンタッチで取付け取外しできるMVC-77型プレートコンパクターが注目を集め又ご契約をしていただいた。

最終日は終了時間ギリギリまで商談が行なわれ、多数の商談が成立しました。展示会に多大な御協力を賜った今給黎社長はじめ社員の方々に深くお礼申し上げます。今後も今給黎の御発展を心よりお祈りいたします。

○○スクエア・フノート（二
 四〇〇坪）、旧社屋に比べ敷地
 で四、八倍、建物で二倍の規
 模となった。

新社屋は米国でも最新の設
 備が施された、家具類は新調さ
 れ、落ちついたブルーの間仕
 切で各自が独立した事務空間
 を持ち、床も同系色の絨毯が
 敷き詰められている。又、フ
 ネージャークラスの机の上には、
 コンピューターの端末が

ら南はフロリダの先まで、今
米をぐまなく、徹底した行
力で販売活動、宣伝活動を進
め、より増して同社のきめ細
いサービスは三笠製品の品質
の高さと相俟って「ミカサ」
のブランドを米国でゆるぎな
いのにした。現在は全米を
五ヶ所のストックヤードでカ
バーし、ユーザーのニーズに
即応出来る体制を整えている
が、特に部品の供給は98パー

は、新しい構想が既に練られているようだ。マルチテクニッ
ブ社の今後の活躍を大いに期
待すると共に、輸出パートナー
である伊藤忠商事(株)さん上
は、更には一層の御支援をお願い
してやみません。 藤村記

**拡張コンクールに
輸出二課連続優勝**

初日はさわやかな秋風が吹き、絶好の展示会日和となり、商談も順調に進み、あちこちから景気の良い三本締めの中から響きわたった。

二日目は生憎小雨が降っていたが、お客様の出足はよく、イマギイレさんのこのグランシドフエアに掛ける意気込みと、日頃の営業活動の成果を感じた。

三笠コーナーでは、小型ながら輦圧力の強いMT50・65

米國三笠總代理店のマルテ
クイップ社（レービン社長・
カリフォルニア州カーソン市
は、此の度び旧社屋から数フ
ロック離れた同市ウエルミン
トン・アベニュー沿いに本社
を移転し、去る七月二十六日
に、グランドオープンが
盛大に舉行され三笠からは京
谷社長が出席し、親しくお祝
の御挨拶を申し上げた。

新社屋は敷地六エーカー
七、三〇〇坪、建物五〇、〇

移転の運びとなった。移転の
動機が、新しく入社した社員
の駐車場がないから」とはジ
ョークにしても車社会のアメ
リカ的一端を覗かせる。事実
この五年間の成長は目覚ましい
ものであり、北はアラスカか

ツテングを合せたコンビネーションは米国で並ぶものは有りません。私は、永年の間MQに送られた三笠からの御支援について京谷社長及び社員の皆様にご心より感謝の意を表します。私共の成長は、今後とも三笠の優秀さ、斬新さにより更に大きく上昇を続けるでしょう。」

大きく敷地に余裕を持った新社屋では、次への飛躍のためにレービン社長の頭の中で

(株)イマギイレ
(埼玉)

レンタルに、販売にと躍進を続ける(株)イマギイレ(社長今給黎幸二氏)さんでは恒例の第五回グラランドフェアを九月十四日(土)、十五日(日)の二日間におたり、新たに敷地を拡張した大宮支店に於いて行なった。

イマギイレさんのグラランドフェアは晴海で行なわれる建機展をそのままもって来たような盛大なもので、二日間の入場者は予想を軽く突破して約一〇〇〇名であった。

三笠米國總代理店
マルティクイップ社
新社屋落成




レービン社長
と新社屋

実演が行われた。

レービン社長は、パーティーの席上挨拶された内容を、左記のように三笠ニュースへのメッセージとして寄せられた。

「米国市場での私共の成長と発展は、三笠産業との十五年以上に渡るお付き合いの中で、同社から供給された傑出した製品のお陰です。今日、三笠転圧機械は米国でのリーディング・ブランドであり、得られる最高品質の製品として認められて居ります。この三笠の高品质とMQ（マルティクイップ）のサービスとマーケティング」

